

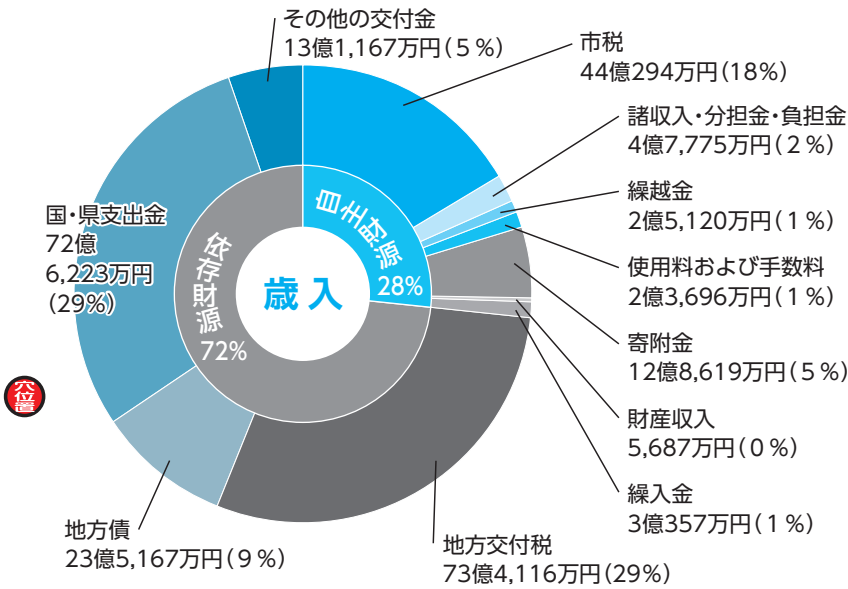
決算報告

令和3年度の小城市の決算がまとまりました。普通会計の決算をもとに家計に例えてみましたので、一緒に見ていきましょう。



普通会計 歳入の内訳

歳入総額 252億8,221万円



小城家の家計簿

市の普通会計を家計に置き換えました。1カ月分の家計の収入と支出を、市民1人当たりの金額に置き換えると次のようになります。

令和4年3月31日 住民基本台帳人口 44,559人

小城家の1カ月の収入の内訳		
	収入(円)	増減率
給料(市税)	98,811	1.4% ↑
親からの援助・仕送り(国・県支出金など)	357,168	10.5% ↓
雑収入(諸収入・寄附金など)	46,181	9.8% ↓
貯金の取崩し(繰入金)	6,813	60.4% ↓
前月からの繰越金(繰越金)	5,637	26.3% ↓
新たな借入金(地方債)	52,776	98.6% ↑
合計	567,386	

を翌月へ繰り越します。

市の令和3年度普通会計決算額を1カ月の家計に例えてみると、小城市の1カ月の収入は56万7千円となっています。収入では、主に、親からの仕送り(国庫支出金・県支出金)が減っています。これは、令和2年度に限り実施した、市民一人につき10万円を給付した特別定

額給付金給付事業が令和3年度にはなかったことによる反動減が主な要因です。一方で国税増収に伴い地方交付税などが増えたことから、貯金の取崩し額を減らすことができました。

また、新たな借金(地方債)が増えています。これは、学校給食センター(仮称)改築事業や庁舎に災害時にも役立つ再生可能エネルギー発電設備を整備した庁舎防災機能強化事業を実施するため新たに借入したためです。支出では、令和2年度に限り実施した特別定額給付金の反動減の影響で補助費などが減っていますが、一方で、医療費、教育費などは増えている状況です。

用語説明

《歳入》

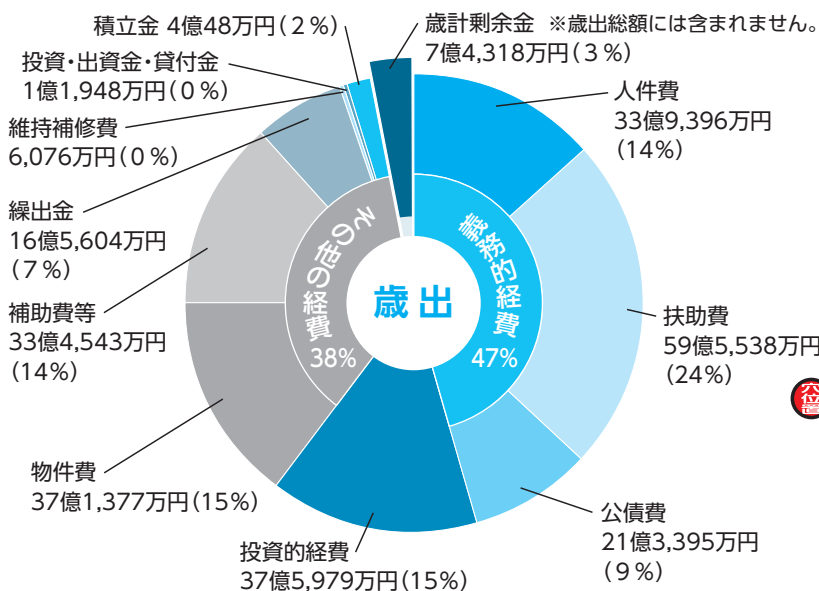
市 税	市民税や固定資産税など市に納められたお金
諸収入・分担金・負担金	貸付金の返済や特定の事業に対し利益を得た者からもらうお金
繰越金	前年度から繰り越されたお金
使用料・手数料	公営住宅の家賃や住民票の発行などで納められたお金
寄附金	ふるさと応援寄附金などの寄附金
財産収入	市が持っている建物や土地の貸付などで入ってきたお金
繰入金	基金などから繰り入れたお金
地方交付税	国税（所得税、法人税、酒税）の一部から一定の割合の金額を配分されたお金
地方債	資金調達のために借入れた借金
国・県支出金	市が行う特定の事業に対して国や県から交付されたお金
自主財源	市が自ら調達できる収入
依存財源	国や県の決定や割り当てによって交付される収入。市独自で収入額を決められない

《歳出》

人件費	職員給与や議員報酬などのお金
扶助費	生活保護費、児童手当、障がい者への支援に使われたお金
公債費	これまで借入れたお金の返済に使われたお金
投資的経費	建物や道路などのインフラ整備に使うお金
物件費	業務を行う上で必要な事務費
補助費等	各団体などへの補助金や負担金
繰出金	特別会計などに繰り出すお金
維持補修費	市が管理する施設や道路を維持・補修するお金
投資・出資金・貸付金	市が財産を有効に運用するためのお金
積立金	基金へ積み立てたお金
歳計剰余金	歳入総額から歳出総額を差し引いたお金 ※歳出総額には、歳計剰余金は入りません

普通会計 歳出の内訳

歳出総額 245億3,903万円



各会計の決算収支

令和3年度会計別決算

会計名	歳入決算額(収入)	歳出決算額(支出)
普通会計		
一般会計	254億4,013万円	246億9,695万円
特別会計		
国民健康保険特別会計	51億9,177万円	50億8,858万円
後期高齢者医療特別会計	5億8,497万円	5億7,449万円
小計	57億7,674万円	56億6,307万円
合計	312億1,687万円	303億6,002万円
公営企業会計		
病院事業会計	19億6,225万円	12億8,687万円
水道事業会計	3億4,126万円	3億9,315万円
下水道事業会計	32億8,891万円	36億8,795万円

※令和3年度決算報告（普通会計）のグラフと上記の普通会計の小計が合わないのは、普通会計間のやり取り（繰入繰出）がなかったものとして相殺処理をしているためです。

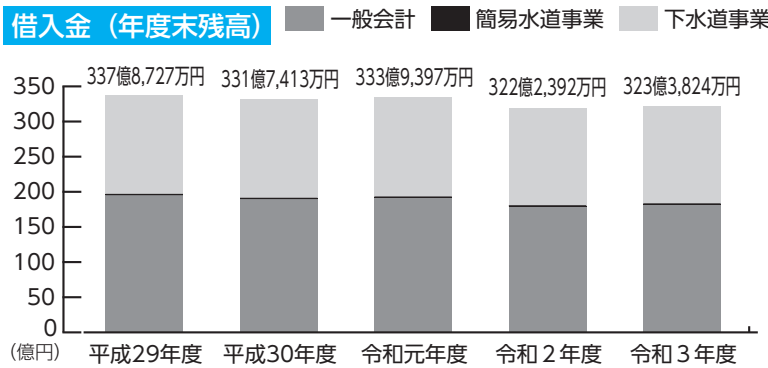
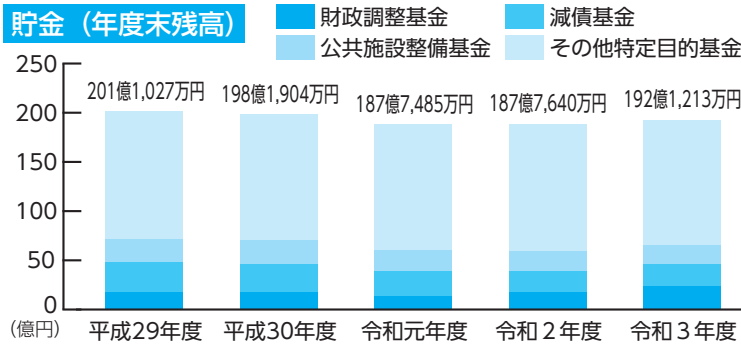
小城家の1カ月の支出の内訳

項目	支出(円)	増減率
食費（人件費）	76,168	0.6% ↑
医療費、教育費など（扶助費）	133,652	23.7% ↑
ローンの返済（公債費）	47,890	14.4% ↓
光熱水費・消耗品など（物件費）	83,345	9.7% ↑
自治会費、クラブ会費など（補助費など）	75,079	57.2% ↓
子どもへの仕送り（繰出金）	37,165	0.8% ↑
家の修繕費（維持補修費）	1,364	0.7% ↑
友達へ貸したお金（投資・出資金・貸付金）	2,681	24.4% ↑
貯金（積立金）	8,988	5.9% ↓
家の増改築費用（投資的経費）	84,378	82.5% ↑
合計	550,710	

(収入) - (支出) の16,676円



小城市の貯金と借入金（5年分）



市の貯金は、192億1,213万円となり、前年度より4億3,573万円増加しました。また、借入金は前年度より1億1,432万円増え、323億3,824万円となりました。

今後、一般会計では、小城フットボールセンターの整備事業、芦刈文化体育館の改修、給食センターの整備、また牛津川遊水地事業などを計画していません。こうしたことから、小城市の貯金は今後減少していくこととなります。



政策6 子どもが自分らしく 笑顔で育っていけるまち

教育
総務課

学校給食センター（仮称）改築事業
10億5,861万6千円

児童生徒に安心して安全な給食を提供することを目的として、現在の給食施設を統廃合した新給食センターを建設します。令和3年度は造成工事や設計、また建設工事費の一部の支払いを行いました。

保育
幼稚園課

★保育所等整備補助事業 3,480万8千円

市立私立保育所等の施設整備や保育ニーズへの対応と安全かつ安心な保育環境を確保するため、令和3年度は、保育所等の整備費用や防犯対策強化整備費用に対し補助金を交付しました。また、新型コロナウイルス感染症対策にかかる費用に対して補助金を交付しました。

政策7 地域の資源を活かし 企業も市民も元気なまち

農林
水産課

園芸振興対策事業 7,677万4千円

園芸作物の振興および産地の育成強化を図るため、省エネ・省力化技術の普及などを進めるとともに、新規就農者などを育成します。令和3年度は、8事業主体に対し園芸用ハウスなどの整備費用に対し補助金の交付を行いました。また、令和3年8月豪雨で被災した農業用施設などの復旧に対して補助金を交付しました。

政策10 ひとりひとりの力を合わせて防犯・防災 安心して暮らせるまち

財政課

庁舎防災機能強靱化事業
8億6,288万6千円

防災活動拠点である庁舎に、基本的に24時間365日庁舎の電力を賄い、人命救助に重要な72時間の業務継続性の確保対策として、再生可能エネルギー発電設備を整備しました。

令和3年度に実施した 主な事業を紹介します

政策1 住みたい！と思う 笑顔が集まるキレイなまち

定住
推進課

移住・定住対策事業 563万5千円

定住人口の確保と地域の活性化を図るため、令和3年度は、地域おこし協力隊を導入し、移住や空き家に関する相談窓口を開設しました。また、空き家改修費助成事業を実施し、補助金を交付しました。

政策4 みんなが健やかで 生きがいを感じるまち

総合
戦略課

（仮称）小城フットボールセンター整備事業
4億5,556万5千円

地域活性化を推進する健康・スポーツの拠点づくりとして、牛津保健福祉センターの隣接地に人口芝2面のフットボールセンターおよび駐車場などを整備します。令和3年度は設計業務や建設予定地の用地取得などを行いました。

健康
増進課

新公立病院建設事業 1,506万3千円

小城市民病院と多久市立病院を統合し、地域に根差した市民の皆さんに信頼される新病院を整備するため、令和3年度は、多久小城医療組合を設立し、用地交渉、造成設計や建設基本設計を行いました。





指標からみる財政状況

お知らせ

	令和3年度	令和2年度
経常収支比率 財政の弾力性 (ゆとり)の指標	88.3%	92.5%
実質公債費比率 借金返済の割合	7.4%	6.9%
財政力指数 自前の財源の割合 (3カ年平均)	0.41	0.42
市税徴収率 (現年課税分)	99.3%	98.7%

【経常収支比率】

使途を制限されない経常的な収入（地方税、普通交付税などの毎年収入となる性質のもの）に対する経常的な支出（人件費、公債費、扶助費などの毎年経常的に支出されるもの）の割合です。この割合が低いほど自由に使えるお金があることとなります。

【実質公債費比率】

借入金（地方債）の返済額およびこれに準ずる額の大きさを指標化したもので、一般会計などが負担する元利償還金などの標準財政規模に対する比率です。

【財政力指数】

地方公共団体の財政力を示す指標です。財政力指数が高いほど自主財源（地方公共団体が自ら調達できる財源）の割合が高く、財政力が強いこととなります。これが1を超えると、普通交付税は交付されなくなります。



新型コロナウイルス感染症対策事業

総務課 ★自治会活動支援事業 1,406万3千円

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、自治会活動を安心かつ継続的に実施するため、必要とする備品などの購入や公民館の軽微な改修に対して補助金を交付しました。

社会福祉課 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金支給事業 2億7,832万4千円

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、住民税非課税世帯などに対し、1世帯につき10万円の臨時特別給付金を支給しました。

健康増進課 新型コロナウイルスワクチン接種事業 3億6,016万5千円

予防接種法の臨時接種に関する特例に基づき、感染拡大を抑制するとともに、重症化を防ぐことにより、市民の健康を守るため、新型コロナウイルス感染症に係るワクチンの予防接種を実施しました。

農林水産課 ★農林水産業継続応援給付金事業 596万7千円

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、事業収入が減少した農林水産業者などの事業継続を支援するため、農林水産業者などに対して給付金を支給しました。

商工観光課 ★キャッシュレス決済推進事業 1,762万5千円

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、スマートフォンなどを使った非接触の支払い手続きを推進し、小城市内での消費活動を活性化するため、キャッシュレス決済で購入した人に対しポイント還元を行いました。

総合戦略課 ★小城ふるさと元気便事業 92万2千円

新型コロナウイルス感染症の長期化に伴い、日常生活に不安を感じ、学生生活に支障をきたし生活している佐賀県外の大学などに在籍している小城市出身の学生を応援するため、小城市の特産品の詰め合わせを送付しました。

社会福祉課 子育て世帯への臨時特別給付金支給事業 7億7,157万1千円

新型コロナウイルス感染症の影響などを踏まえ、子育て世帯に対し、対象児童1人につき10万円の臨時特別給付金を支給しました。

教育総務課 ★スクール・サポート・スタッフ配置事業 528万9千円

新型コロナウイルス感染症対策の強化のため、市内の小・中学校に各1人ずつスクール・サポート・スタッフを配置し、感染症対策のための消毒や子どもの健康観察やその補助などを実施しました。

商工観光課 ★事業継続応援給付金事業 3,944万4千円

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、休業要請等により売り上げが減少した事業者などの事業継続を支援するため、事業者などに対して給付金を支給しました。

商工観光課 ★第3弾小売店舗等復興応援券事業 2,919万2千円

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けている事業者を支援するため、市民1人につき3千円の小売店舗等復興応援券を交付しました。

